

## 「社会を明るくする運動」

7月の「社会を明るくする運動」強調月間にちなんで、各地域で行われたさまざまな活動を紹介しします。

### 「社会を明るくする運動」とは…

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、明るい社会を築こうとする毎年実施されている全国的な運動です。

### 【松浦地域】 啓発パレードを実施

7月2日、松浦更生保護女性会（上松シズエ会長）の会員や市内の保護司など約20人が、啓発パレードを行いました。

この日は、会員が準備した啓発用ビケットや、ポケットティッシュなどを配布しながら、約1時間かけて志佐町内を歩きました。



### 【福島地域】 ポスターを募集

福島町更生保護連絡協議会が主催で、福島町の小学4、5、6年生と福島中の美術部員、約120人を対象にポスターが募集され、各学校で選ばれた代表作品10点ずつが応募されたものです。

応募作品から選ばれた表彰作品は、市役所福島支所、福島町社会福祉センター、福島保健センター、いろは島荘に、8月末まで展示されます。上位の表彰者は次の通りです（敬称略）。

- 【小学生】最優秀＝吉田晃之進（福島・6年）  
 優秀＝森岡雅（福島・6年）、島田真代（養源・5年）
- 【中学生】最優秀＝平松春花（3年）  
 優秀＝徳田英理子（3年）、山田沙央里（2年）



▲中学生の部 最優秀の  
平松春花さんの作品

▲小学生の部 最優秀の  
吉田晃之進君の作品

### 【鷹島地域】 ポスターと標語の募集と啓発パレードを実施

保護司などで構成される社会を明るくする運動実施委員会主催で、鷹島小4、5、6年生と鷹島中の全校生徒を対象として各学校で選ばれた10点ずつが応募されたものです。応募作品から選ばれたポスター・標語の表彰作品各20点が強調月間の1か月間、支所玄関横に展示されました。

また7月1日には、同委員会の会員約35名と鷹島小の4・5・6年生58人で構成される鼓笛隊による啓発パレードも行われました。ポスター・標語の表彰者は次の通りです（敬称略）。

- 【小学生・ポスターの部】最優秀＝永田希良来（5年） 優秀＝湯高葵（5年）、下松吟平（6年）
- 【小学生・標語の部】最優秀＝吉澤葉里（6年） 優秀＝森楓華（5年）、中川稚菜（6年）
- 【中学生・ポスターの部】最優秀＝辻畑仁美（1年） 優秀＝辻畑みのり（3年）、大石真純（3年）
- 【中学生・標語の部】最優秀＝大石真純（3年） 優秀＝宮本富加（2年）、辻畑みのり（3年）



◀ポスター・  
標語の展示  
(鷹島支所)



◀啓発パレード  
(鷹島小  
児童による鼓笛隊)

### 古墳時代の松浦 (3)

古墳時代も終わりごろの6世紀から7世紀になると、古墳を造る階層が広がり中小の豪族が家族の古墳を造るようになります。これを群集墳と呼んでいます。市内では鷹島町に薫崎鬼塚古墳・宝ヶ峯古墳群、福島町に横島古墳・小島古墳、御厨町に小嶋古墳群があります。

小嶋古墳群は大崎海水浴場の側の、海に面した標高約6mの小嶋に位置しています。基数は3基ですが、残念ながらいずれも本来の円墳の形状をとどめておらず封土・天井石もなく扁平な板状石で築かれた横穴式石室が露出しています。3基のうち1基を昭和62年に調査を行っています。石室は全長5.2mあり、玄室は奥幅2.3m、前幅1.4m、右壁長1.5m、左壁長1.4mありほぼ方形の形をしています。床面には礫が敷かれていました。写真は死者を葬った玄室内から出土した遺物です。上段が銀メッキの耳飾。中段左2点が碧玉製勾玉、その右が碧玉製丸玉、右が滑石製丸玉。

下段左2点がガラス製丸玉、外はガラス製小玉です。このほかにも鉄鏃・鉄刀などがあります。この古墳は7世紀後半代に造られたもので、葬られた人は海上交通や漁労をする人々を支配した豪族の一人だと考えられます。そのほかの古墳は豪族の家族だと考えられます。



クリス先生  
(アメリカ出身)

### The 4th of July 7月4日

アメリカ人が毎年大切に思っている日があります。それは、独立記念日として知られている7月4日です。1774年のこの日、議会在イギリスからの独立を宣言する声明「独立宣言」を採択しました。これは、アメリカの独立のための大切なステップで、アメリカ合衆国の誕生した日とも考えられています。

アメリカ人は自由の大切さを思い出させる日として7月4日を祝います。ほとんどの人が合衆国の旗の色(赤、白、青)を身につけ、アメリカの国旗がいたるところに掲げられます。例年この日は天気が良く、人々はバーベキューやピクニックをします。街ではパレードが行われ、アメリカの国歌「星条旗」が流れます。そして、夜には花火を見ることが習わしです。

私は今年の7月4日はアメリカにいませんでした。市内で、友人たちとバーベキューや花火をして祝いました。祝ったのはアメリカ人だけではなく、カナダ人、オーストラリア人、オランダ人そしてもちろん日本人の友人も一緒でした。もう一つ大切なアメリカの伝統は、さまざまな人々と共にいることです。ですから7月4日はアメリカ人にとって特別な日なので、世界中の友人たちと過ごすことは嬉しいことなのです。

